



町の取組み理解深める 新エネ施設見学ツアー

8月12日、町主催のくずまき高原クリーンエネルギーツアーが行われ、弘前大学の学生など町外から24人が参加しました。

町担当の案内の下、くずまき高原牧場の木質・畜ふんバイオマス施設や上外川高原の風力発電所などを見学。参加者は、葛巻町のクリーンエネルギーの取り組みについて理解を深めました。

盛岡市から参加した川村昂大くん（岩大附属小6年）は「学校の卒業研究でクリーンエネルギーをテーマに勉強しています。葛巻町は自然がいっぱいで、初めて見た風車はとて大きくて驚きました」とツアーを振り返りました。

グリーンパワーくずまき風力発電所（上外川高原）で説明を受けながら風車を見上げる参加者



キッズニアinくずまき 児童生徒が林業を体験

当町の森林で学び、体験する「アウトオブキッズニア・活樹祭」は8月6日から8日まで行われ、首都圏の児童生徒24人と五日市小の児童11人が参加しました。

「木を切って使うことは健康な森づくりに必要なこと」をテーマに、枝打ちや間伐、被災地に届ける薪の収穫などの体験を通して、林業の重要性について理解を深めました。

東京都から参加した千葉愛海さん（小学4年）は「森のために役立つことができて良かった」と話し、栗村龍斗くん（五日市小4年）は「みんなで協力して、たくさんの薪を切り出すことができた」と笑顔を見せました。

のこぎりを使って木を薪の長さに切る子どもたち（こいわの森）

玉川学園オーケストラ 小屋瀬小学校で生演奏

玉川学園（東京都町田市）の中学部と高等部の生徒23人によるオーケストラ演奏会は8月21日、小屋瀬小学校体育館で開かれ、同校の児童や保護者が生の演奏に酔いしれました。

この演奏会は、同学園オーケストラ部が毎年、夏合宿を兼ねて東北地方を演奏旅行しているもので、バイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバスの4種類の楽器を使って、あまちゃんやディズニー、クラシックなど、さまざまな曲を1時間にわたって演奏しました。

畫澤真奈美さん（6年）は「楽器の音色がとてもきれいで感動しました」と笑顔で話しました。



玉川学園オーケストラ部による生演奏

爽やかな晴天に恵まれ ビールとワインを堪能

ベアレンビール&くずまきワインフェスタは8月11日、くずまき高原牧場で開催され、町内外から来場した約300人が爽やかな晴天の下、ベアレンビールとくずまきワインを思う存分堪能しました。

このイベントは、(株)ベアレン醸造所（盛岡市）が創業10周年を記念して開催したもので、最大5時間飲み放題のお得なチケットは、前売りが2,000円、当日券が2,500円。ステージではミニコンサートなども開催され、会場を大いに盛り上げました。

くずまき高原牧場とベアレン直営店のフードコーナーも出店され、来場者はお盆前のひとときを満喫しました。



爽やかに晴れ渡った会場で、ビールとワインを堪能する来場者



夏季山ぶどう^{せん}剪定作業 山ぶんどクラブが体験

くずまき山ぶんどクラブの夏季剪定体験（くずまき高原グリーン・ツーリズム推進協議会主催）は7月27日、鍋倉地区で行われ、東京都からの参加者も含めた会員45人が参加しました。

この日は、山ぶどうのつるや木の皮などを取り除く作業が行われ、はさみを使って1時間ほどの作業に汗を流しました。盛岡市から参加した吉田健嗣さんは「天気にも恵まれて最高です。最後に作るワインボトルの絵柄は孫に描いてもらおうかなと思っています」と満面の笑顔で語りました。

今後は、10月に収穫作業、3月に選定作業とワインボトルの絵柄作成が予定されています。

はさみを使って山ぶどうの剪定作業に挑戦する子ども



どんな柄に染まるかな 吉ヶ沢小で藍染め体験

吉ヶ沢小学校（石原文子校長・児童7人）は8月23日、総合学習でハンカチの藍染め体験を行い、全児童と保護者らが参加しました。

一戸町で藍染め活動を行うサークル「アイをはぐくむつどい」の上田初子さんを講師に、7人の児童たちはハンカチを染料に浸すなどの作業を夢中で行い、模様が浮かび上がると歓声を上げていました。

吉野白葉さん（4年）は「きれいでもかわいいハンカチになるように作りました。来年はもっといろいろな模様を付けたいです」と来年の体験を楽しみにしている様子でした。

ハンカチを染める前に、模様をつけるための洗濯ばさみを取り付ける児童